

(様式例第11)

佐野厚発68号  
令和4年9月28日

栃木県知事 殿

住 所 栃木県佐野市堀米町1728  
申請者 佐野厚生農業協同組合連合会  
氏 名 代表理事会長 時崎 栄 印

佐野厚生総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1728
氏名	佐野厚生農業協同組合連合会 代表理事会長 時崎 栄

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

佐野厚生農業協同組合連合会 佐野厚生総合病院
------------------------

3 所在の場所

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1728  電話 (0283) 22-5222
---

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
51床	4床	0床	100床	376床	531床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 4 床 (HCU)
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、全自動酵素免疫抗体測定装置、全自動総合血液分析装置、全自動輸血検査システム、全自動尿分析装置 等
細菌検査室	(主な設備) 感染対策システム、全自動同定感受性検査システム、嫌気性菌培養装置、血液培養検査装置、蛍光システム顕微鏡 等
病理検査室	(主な設備) バーチャルスライド作業装置、自動固定包埋装置、免疫自動染色装置、臓器迅速切片作業装置、液状化細胞診作業装置
病理解剖室	(主な設備) 電動昇降式解剖台、運搬兼用遺体体重計、遺体冷蔵庫 等
研究室	(主な設備) パソコン、光学顕微鏡、手術顕微鏡 等
講義室	室数 4 室 収容定員 多目的ホール 400人 講義室1・2・3 計100人
図書室	室数 1 室 蔵所数 20,000冊程度 電子ジャーナル導入
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 38 m <sup>2</sup>

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている  
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		83.3%	算定 期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率		46.2%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			10,950人
	B：初診患者の数			13,151人
	C：逆紹介患者の数			6,076人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
		別添①参照			

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	5 床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急センター	321.22 m <sup>2</sup>	(主な設備) 人工呼吸器、救急蘇生装置、心電図計 等	可
手術室(8室)	1515.98 m <sup>2</sup>	(主な設備) 人工呼吸器、麻酔器、モニタリングシステム等	可
検査室	1056.37 m <sup>2</sup>	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動総合血液分析装置 等	可
放射線室	1884.33 m <sup>2</sup>	(主な設備) X線撮影装置、CT、MRI、心カテ室 等	可

4 備考

救急告示病院 2020年2月1日～2023年1月31日
-----------------------------

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,849人(1,237人)
上記以外の救急患者の数	6,478人(1,328人)
合計	9,327人(2,565人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

#### 1 共同利用の実績

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

種類	件
C T	131
M R I	91
R I	4
骨密度	15
一般撮影	21
上部内視鏡	3

	件
共同利用を行った医療機関数	38
共同利用を行った医療機関数延べ数	262
開設者と直接関係の無い医療機関の延べ数	262
共同利用病床	0 (0%)

#### 2 共同利用の範囲等

C T 撮影、M R I 撮影、R I、骨密度測定、一般撮影、上部内視鏡

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

#### 3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有・無 (別添②参照)

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名:

職 種: 事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

#### 4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別添③参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別添④参照
-------

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	23 回
(2) (1) の合計研修者数	87+WEB視聴 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有・無  
イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有・無  
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	腎臓内分泌代謝内科	院長	38 年	
	医師	呼吸器内科	副院長	31 年	
	医師	腎臓内分泌代謝内科	部長	13 年	
	医師	腎臓内分泌代謝内科	部長	12 年	
	医師	腎臓内分泌代謝内科	教授		外部講師
	医師		主任教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		主任教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		教授		外部講師
	医師		准教授		外部講師
	医師		副院長		外部講師
	医師		講師		外部講師
	医師		主任診療科長		外部講師
	医師		専任講師		外部講師
	医師		専任講師		外部講師

	医師		副院長		外部講師
	薬剤師				外部講師
	薬剤師				
	薬剤師				

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
図書室	131.74 m <sup>2</sup>	(主な設備) 電子ジャーナル用P C 等
多目的ホール	532.81 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、A V機器、 テーブル・椅子、舞台 等
講義室 1・2・3	260.97 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、電子カルテ用 P C、A V機器、テーブル・椅子 等
会議室 1	33.53 m <sup>2</sup>	(主な設備) 会議用テーブル・椅子 等
会議室 2	33.10 m <sup>2</sup>	(主な設備) 会議用テーブル・椅子 等

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長
管理担当者氏名	診療情報課長補佐

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各課部署	病院日誌・・・年度単位 総務課管理 病棟管理日誌・・・年度単位 総務課管理 処方箋・・・3か月単位3年保管 薬剤部管理 手術記録・・・電子カルテ管理 看護記録・・・電子カルテ管理 検査記録・・・電子カルテ管理 X線写真・・・画像サーバー管理 退院サマリ・・・電子カルテ管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	放射線科 地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	総務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧実績	診療録管理室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長
閲覧担当者氏名	診療情報課長補佐、地域医療連携室
閲覧の求めに応じる場所	会議室、診察室、地域医療連携室 等
閲覧の手続の概要	別添⑤参照

前年度の総閲覧件数		件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	39 件

(様式例第 18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回
委員会における議論の概要	
新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、通常の地域医療支援病院運営委員会は業務報告等を郵送し、書面開催とした。郵送した資料に関しては別添⑥を参照。	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	患者相談窓口、医療福祉支援室
主として患者相談を行った者（複数回答可）	社会福祉士、精神保健福祉士
患者相談件数	8,585 件
患者相談の概要	
別添⑦参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 3rdG : Ver. 2.0 認定機関 2020年6月20日～2025年6月19日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページ・デイケア通信の作成 診療科案内発行（1回/年） 外来担当医表、講演会開催案内送付（1回/月）連携室たより定期発行（1回/2ヶ月） 広報誌「こんにちは佐野厚生総合病院です。」定期発行（1回/3ヶ月） 各種講演会・講習会の開催	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・ 退院調整部門の概要（担当者：専従の退院調整看護師1名、専任のMSW1名） 目的：目指すべき療養先の確保や在宅療養支援に関して、院内および地域の医療チームと連携・稼働する。 イ） ケースカンファレンス開催 ロ） 退院調整看護師若しくはMSWによる患者本人・家族との面談 ハ） 拡大カンファレンス（多職種カンファレンス）開催 ニ） 退院前サービス担当者会議 ※ 入退院共通連携シートにより相互連携の強化・情報の共有を図る。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 5大がん地域連携パス、緩和ケア連携パス ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 連携病院との情報共有、とちまるネットの活用	